

# CF-LX3 / CF-MX3 / CF-SX3 / CF-RZ4 シリーズ リカバリープログラム修正ツール手順書

公開：2015年2月3日

本書では、リカバリープログラム修正ツールの使用方法について説明します。

## 【ご注意】

- ・ リカバリープログラム修正ツールを実行する際は、必ず「**コンピューターの管理者**」の**権限のユーザーでログオン**してください。（ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにコンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。）

## 【お願い】

**リカバリープログラム修正ツールを実行する際には、以下の事項をお守りください。**

- ・ AC アダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続しておいてください。
- ・ 有線 LAN、無線 LAN、その他のネットワーク接続を切断してください。
- ・ SD メモリーカード、USB 機器、その他の周辺機器はすべて外してください。
- ・ リカバリープログラム修正ツール以外のアプリケーションソフトはすべてデータを保存して終了してください。

## 【リカバリープログラム修正ツールの使用方法】

リカバリープログラム修正ツールの操作は下記の流れで行います。

1. リカバリープログラム修正ツールのダウンロードと展開
2. ダウンロードしたリカバリープログラム修正ツールの実行
3. リカバリープログラム修正ツール実行後のお願い

### 1. リカバリープログラム修正ツールのダウンロードと展開

リカバリープログラム修正ツールを実行するためには、まずダウンロードページに掲載されているプログラムをダウンロードした後、対象機種種の Windows 上で実行し、展開先フォルダにファイルを展開します。

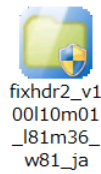
掲載されているプログラム：

（ご使用中の OS によって異なりますので、ご注意ください）

fixhdr2\_v100110m01\_l81m36\_w81\_ja.exe      (Windows 8.1 の場合)

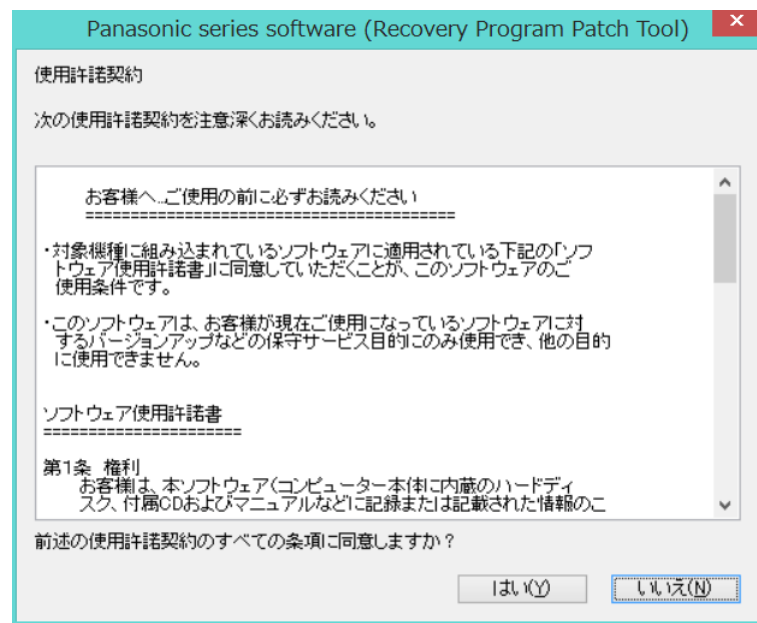
fixhdr2\_v100110m02\_l81m36\_w7\_ja.exe      (Windows 7 の場合)

- (1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして(タッチスクリーンの場合はダブルタップして。以下同様)実行します。

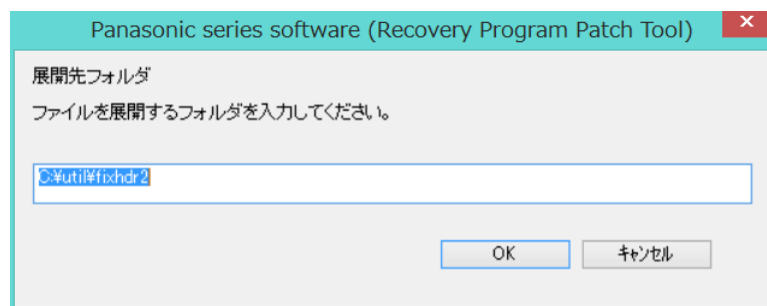


(図は Windows 8.1 の場合です)

- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします(タッチスクリーンの場合はタッチします。以下同様)。
- (3) 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、「はい」をクリックしてください。



- (4) 展開先フォルダを設定する画面が表示されます。展開先フォルダは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。(変更する場合は、必ず、本体のハードディスク上のフォルダを指定してください。展開先フォルダは標準では「c:\util\fixhdr2」が設定されています。)「OK」をクリックしてください。



- (5) しばらくして展開が完了すると、展開先フォルダが開きます。

## 2. ダウンロードしたリカバリープログラム修正ツールの実行

以下の手順にしたがって、リカバリープログラム修正ツールを実行してください。

- (1) 1. で展開した展開先フォルダの [fixhdr2] (拡張子を表示している場合は、fixhdr2.exe) をダブルクリックします。



- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- (3) 画面の案内にしたがって準備を行い、[OK]をクリックします。処理は数秒で完了しますが、その間、キーボード、タッチパッド、タッチスクリーンなどに触れずに、そのままお待ちください。
- (4) 「修正処理を正常に完了しました。」と表示されたら、画面の説明を読んで、[OK]をクリックします。

リカバリープログラム修正ツールの実行は以上で完了です。

## 3. リカバリープログラム修正ツール実行後のお願い

本ツールを実行後に、Windows 8.1 のリカバリーメディアを作成してください。

ご使用の OS により、リカバリーメディアの作成方法は異なりますので、ご使用の OS の手順に従って、Windows 8.1 のリカバリーメディアを作成してください。

### **(A) Windows 8.1 をご使用中のお客様**

Windows 8.1 プリインストールモデルが対象となります。

### **(B) Windows 7 をご使用中のお客様 (※(C)の場合を除く)**

Windows 7 ダウングレードモデル、Windows 7 カスタマイズモデルが対象となります。

### **(C) お客様が作成されたリカバリーメディアから再インストールした Windows 7 をご使用中のお客様**

(B)のモデルで作成されたリカバリーメディアから Windows 7 を再インストールした場合に対象となります。また、Windows 7 ダウングレード有償サポートでご購入いただいた Windows 7 ダウングレードメディアからインストールした場合も対象となります。

以下の手順中、リカバリーメディア作成の方法については、本機付属の『取扱説明書 基本ガイド』の「リカバリーディスクを作成する」をご参照ください。

## (A) Windows 8.1 をご使用中のお客様

本ツールを実行前に、リカバリーメディア作成ユーティリティで作成した Windows 8.1 のリカバリーメディアがあれば破棄してください(USB メモリーの場合は、同じ USB メモリーを使用して作成可能です)。

本ツールを実行後に、Windows 8.1 のリカバリーメディアを作成してください。

(本ツールを実行後は、もう一度リカバリーメディアを作成することができます。)

なお、再インストールの前には取扱説明書に記載しております通り、SD メモリーカードおよび、全ての外部記憶装置(USB メモリー、USB ハードディスクなど)、周辺機器を取り外してください。詳しくは、弊社 FAQ「パソコンを再インストールするときに気をつけることはありますか。」

<http://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/docs/003856> をご参照ください。

## (B) Windows 7 をご使用中のお客様 (※(C)の場合を除く)

本ツールを実行前に、リカバリーメディア作成ユーティリティで作成した Windows 8.1 のリカバリーメディアがあれば破棄してください。

本ツールを実行後に、Windows 8.1 のリカバリーメディアを作成してください。

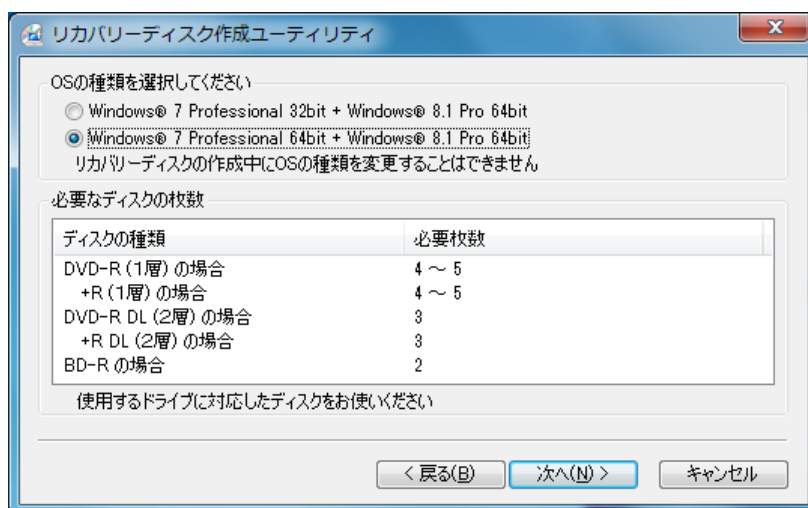
(本ツールを実行後は、もう一度リカバリーメディアを作成することができます。)

リカバリーディスク作成ユーティリティの画面で

Windows®7 Professional 32bit + Windows® 8.1 Pro 64bit

Windows®7 Professional 64bit + Windows® 8.1 Pro 64bit

の両方が選択可能になっている場合は、どちらを選択しても Windows 8.1 のリカバリーメディアを作成して頂けます。



Windows 7 のリカバリーメディアは作成しなおす必要はありません。

なお、再インストールの前には取扱説明書に記載しております通り、SD メモリーカードおよび、全ての外部記憶装置(USB メモリー、USB ハードディスクなど)、周辺機器を取り外してください。詳しくは、弊社 FAQ「パソコンを再インストールするときに気をつけることはありますか。」

<http://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/docs/003856> をご参照ください。

## (C) お客様が作成されたリカバリーメディアから再インストールした Windows 7 を

### ご使用中のお客様

本ツールを実行前に、リカバリーメディア作成ユーティリティで作成した Windows 8.1 のリカバリーメディアを使用して、Windows 8.1 を再インストールされる場合は、取扱説明書に記載しております通り、SD メモリーカードおよび、全ての外部記憶装置 (USB メモリー、USB ハードディスクなど)、周辺機器を取り外してください。

詳しくは、弊社 FAQ「再インストールする場合の注意事項 (2014 年秋冬モデル)」

<http://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/docs/003857> をご参照ください。

Windows 8.1 の再インストール後には、本ツール (Windows 8.1 用) を再度ダウンロードして実行してください。また、本ツール実行後は、(A) の内容をご確認ください。

以上